
プログラム

第2日目 9月13日(土)

第2日目 9月13日(土) 第1会場 (京王プラザホテル新宿 本館5F コンコードボールルームB)

シンポジウム8 Low grade gliomaの手術適応・治療適応

8:30~9:50

座長：成田 善孝(国立がんセンター中央病院 脳脊髄腫瘍科)
 隅部 俊宏(北里大学 脳神経外科)
 藍原 康雄(東京女子医科大学 脳神経外科)

第2日目
プログラム

- S8-1 島回・弁蓋部の大型IDH変異lower-grade glioma (LrGG)の手術戦略
 北海道大学 脳神経外科 山口 秀
- S8-2 小児視神経視床下部神経膠腫に対する、積極的外科的摘出術の適応と中長期臨床経過
 東京女子医科大学 脳神経外科 藍原 康雄
- S8-3 IDH変異低悪性度グリオーマの予後改善に寄与する手術タイミングと摘出度の検討
 名古屋大学 脳神経外科 青木 恒介
- S8-4 乏突起膠腫に対する術前化学療法を応用した段階的切除戦略
 東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科 佐々木 光
- S8-5 覚醒下脳機能マッピングを用いた低悪性度グリオーマに対する
 病理学的supra-total resectionの確立を目指して
 静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科 本村 和也
- S8-6 90%以上摘出を境界として経過観察または治療介入を行った
 Low grade glioma268例の臨床成績
 宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院 脳神経外科 丸山 隆志
- S8-7 Grade3神経膠腫の長期治療成績および摘出率と再発、
 予後の相関-single centerでの連続155例の検証
 東京女子医科大学 脳神経外科 呂 聰東
- S8-8 再手術による「腫瘍残存なし」状態を追い求めた頭蓋内上衣腫の治療経過：
 北里大学病院における治療シリーズ
 北里大学 脳神経外科 隅部 俊宏

シンポジウム9 光線力学的診断・療法の適応と治療成績

9:50~11:20

座長：秋元 治朗(厚生中央病院 脳神経外科)
 丸山 隆志(宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院 脳神経外科)
 石川 栄一(筑波大学 脳神経外科)

- S9-1 浸潤性髄膜腫手術における5-ALAを用いた光線力学的診断の有用性
 -特定臨床研究の結果から-
 筑波大学 脳神経外科 松田 真秀
- S9-2 PET画像は5-ALA蛍光評価を補えるか？膠芽腫摘出における新たな指標の提案
 香川大学 脳神経外科 三宅 啓介
- S9-3 悪性脳腫瘍手術におけるImage Jを用いた5-ALA陽性所見の輝度解析所見の検討
 昭和医科大学 脳神経外科 近 貴志

- S9-4 膜芽腫に対する腹臥位・パークベンチでの光線力学的療法併用摘出術の
ポイントと問題点 東京医科大学 脳神経外科 深見 真二郎
- S9-5 Talaporfin Sodium蛍光強度の定量的解析による膜芽腫腫瘍周囲の浸潤領域の同定
愛媛大学 脳神経外科 井上 明宏
- S9-6 再発悪性神経膠腫に対する光線力学的療法の治療成績
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 青木 拓磨
- S9-7 再発膜芽腫に対する再手術と光線力学療法の適応と治療成績
愛媛大学 脳神経外科 山下 大介
- S9-8 開頭腫瘍摘出術におけるインドシアニングリーンを用いた術中蛍光診断：
当院での現状 産業医科大学 脳神経外科 山本 淳考
- S9-9 インドシアニングリーンによるリアルタイム蛍光ガイド手術が導く
脳脊髄腫瘍手術の発展と機序の解析 藤田医科大学 脳神経外科 武藤 淳

特別講演2

11:25~12:10

共催：SBIファーマ株式会社
座長：秋元 治朗(厚生中央病院 脳神経外科)

- SL-2 Next Steps for 5-Aminolevulinic Acid in Malignant Brain Tumors
Department of Neurosurgery, University of Münster Walter Stummer

ランチョンセミナー5 脳腫瘍外科の近未来

12:20~13:20

共催：エス・アンド・ブレイン株式会社
座長：黒住 和彦(浜松医科大学 脳神経外科)

- LS5-1 悪性脳腫瘍外科の近未来 東海大学 脳神経外科 高橋 雅道

- LS5-2 良性脳腫瘍外科の近未来 東京慈恵会医科大学 脳神経外科 渡邊 健太郎

シンポジウム10 頭蓋咽頭腫の手術適応・治療適応

13:50~14:55

座長：西岡 宏(虎の門病院 間脳下垂体外科)

岡 秀宏(北里大学メディカルセンター 脳神経外科)

S10-Keynote Lecture

頭蓋咽頭腫手術の正しい剥離面

横浜医療センター 脳神経外科

藤津 和彦

S10-1 頭蓋咽頭腫に対する4-hands endoscopic transsphenoidal surgery
(4-hands eTSS)：治療戦略と適応基準の検討

大阪市立総合医療センター 脳神経外科

石橋 謙一

S10-2 頭蓋咽頭腫手術におけるStalk・SHA血流温存の意義と予後への影響：
術前下垂体機能正常例を対象とした後方視的検討

熊本大学 脳神経外科

篠島 直樹

S10-3 内視鏡下経鼻的拡大法による高齢者頭蓋咽頭腫への治療戦略の変化

金沢医科大学 脳神経外科

林 康彦

S10-4 頭蓋咽頭腫の病理学的subtypeによる治療戦略と長期成績

久留米大学 脳神経外科

坂田 清彦

S10-5 成人頭蓋咽頭腫に対する内視鏡下経鼻的手術における黄色肉芽腫様変化の意義

虎の門病院 間脳下垂体外科

登坂 雅彦

シンポジウム11 下垂体神経内分泌腫瘍の手術適応・治療適応

14:55~16:05

座長：川俣 貴一(東京女子医科大学 脳神経外科)

黒崎 雅道(鳥取大学 脳神経外科)

S11-1 成長ホルモン産生下垂体腫瘍の手術予後予測因子：内視鏡固定器の役割

虎の門病院 間脳下垂体外科

登坂 雅彦

S11-2 過去の治療成績から再考する
75歳以上後期高齢者におけるPitNETの手術適応

愛媛大学 脳神経外科

末廣 諭

S11-3 トルコ鞍部腫瘍の網膜血流解析による新たな手術適応の可能性

群馬大学 脳神経外科

山口 玲

S11-4 TPIT系の非機能性下垂体腫瘍の臨床的特徴

虎の門病院 間脳下垂体外科

福原 宏和

S11-5 経鼻内視鏡下硬膜縫合：術野・針操作・結紉の全過程を“見える化”する

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

長谷川 洋敬

S11-6 High-flow CSF leakageに対する低侵襲頭蓋底再建法

鹿児島大学 脳神経外科

藤尾 信吾

S11-7 内視鏡下経鼻蝶形骨洞アプローチにおける、下垂体transposition後の
下垂体機能についての検討

大阪公立大学 脳神経外科

長濱 篤文

プロ
グラム
第2日目

シンポジウム12 開頭・経鼻同時腫瘍摘出術の適応と治療成績

16:05~17:35

座長：登坂 雅彦(虎の門病院 間脳下垂体外科)
原 貴行(虎の門病院 脳神経外科)
黒住 和彦(浜松医科大学 脳神経外科)

**S12-1 巨大下垂体神経内分泌腫瘍(PitNET)に対する開頭・経鼻同時手術
—開頭術者から見た連続77例の治療経験—**

虎の門病院 脳神経外科 原 貴行

S12-2 Pituitary neuroendocrine tumorに対する完全内/外視鏡下経鼻開頭同時手術

名古屋大学 脳神経外科 永田 雄一

S12-3 複雑な傍鞍部腫瘍に対する多角的アプローチ併用内視鏡下経鼻頭蓋底手術

千葉大学 脳神経外科 堀口 健太郎

S12-4 浸潤性錐体斜台部髄膜腫に対する開頭経鼻同時手術の有用性

久留米大学 脳神経外科 坂田 清彦

S12-5 傍鞍部大型腫瘍に対する内視鏡下小開頭経鼻同時手術の有用性

獨協医科大学 脳神経外科 柴尾 俊輔

S12-6 傍鞍部・前頭蓋底病変に対する内視鏡下眼窩上・経鼻手術の単独・混合手術の適応を再考する

慶應義塾大学 脳神経外科 曾賀野 純希

S12-7 前頭蓋底腫瘍における開頭経鼻同時手術の利点

横浜市立大学 脳神経外科 末永 潤

S12-8 頭蓋底腫瘍に対する開頭・経鼻同時腫瘍摘出術を用いた治療成績

岡山大学 脳神経外科 大谷 理浩

**S12-9 開頭経鼻同時進行手術による頭蓋底腫瘍摘出
-適応と難治性髄液漏への対応-**

京都大学 脳神経外科 丹治 正大

閉会挨拶

17:35~17:40

会長：河野 道宏(東京医科大学 脳神経外科)

第2日目 9月13日(土) 第2会場 (京王プラザホテル新宿 本館5F コンコードボールルームA)

シンポジウム13 外視鏡手術の適応・限界・合併症

8:30~9:50

第2日目
プログラム

座長：大上 史朗(鷹の子病院 脳神経外科)

菊田 健一郎(福井大学 脳神経外科)

渡邊 健太郎(東京慈恵会医科大学 脳神経外科)

S13-1 脳腫瘍外科における外視鏡の臨床的意義と限界

金沢医科大学 脳神経外科 萩原 利浩

S13-2 外視鏡を用いた悪性脳腫瘍手術の現状と課題

杏林大学 脳神経外科 齊藤 邦昭

S13-3 機能温存と摘出率向上を目指した外視鏡下グリオーマ手術

東京科学大学 脳神経外科 田村 郁

S13-4 外視鏡による悪性脳腫瘍の手術

がん研有明病院 脳腫瘍外科 宮北 康二

S13-5 外視鏡下脳腫瘍摘出術の適応と有用性

東京都立多摩総合医療センター 脳神経外科 萩原 雅和

S13-6 頭蓋底病変に対しての外視鏡手術の適応、限界

東京慈恵会医科大学 脳神経外科 渡邊 健太郎

S13-7 二刀流脳腫瘍術者からみた腫瘍栄養血管塞栓術と外視鏡手術の適応と限界

大阪大学 脳神経外科 木嶋 教行

S13-8 聴神経腫瘍手術における外視鏡の次なる一手

-内視鏡との併用-

名古屋大学 脳神経外科 佐藤 佳輝

シンポジウム14 内視鏡手術の適応・限界・合併症

9:50~11:10

座長：中島 伸幸(東京医科大学 脳神経外科)

丹治 正大(京都大学 脳神経外科)

S14-1 三叉神経鞘腫に対するanterior transpetrosal approachと
endoscopic endonasal approachの利点・欠点を再考する

慶應義塾大学 脳神経外科 田村 亮太

S14-2 後頭窩硬膜内腫瘍に対する経鼻内視鏡手術の手術適応と限界の再考
— 52例の解析から見える可能性と課題 —

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 長谷川 洋敬

S14-3 斜台下部および頸椎移行部病変に対する
下方・側方限界に関する考察

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 花北 俊哉

S14-4 傍鞍部髄膜腫に対する鏡視下手術の適応と限界

群馬大学 脳神経外科 山口 玲

S14-5 Endoscopic transorbital approachにおける蝶形骨縁髄膜腫の外側到達限界に関する検討

獨協医科大学 脳神経外科 柴尾 俊輔

S14-6 眼窩内腫瘍における経鼻内視鏡手術の適応と工夫

済生会八幡総合病院 脳神経外科 橋本 彩

S14-7 眼窩内腫瘍に対する経眼窩・経鼻同時腫瘍摘出術の適応と限界

大阪大学 脳神経外科 梅原 徹

S14-8 小開頭内視鏡下腫瘍摘出術の適応と限界

近畿大学病院 脳神経外科 奥田 武司

シンポジウム15 ラトケ囊胞の手術適応・治療適応

11:10~12:10

座長：堀口 健太郎(千葉大学 脳神経外科)

福原 紀章(虎の門病院 間脳下垂体外科)

S15-Keynote Lecture

ラトケ囊胞手術の適応と成績

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原 紀章

S15-1 ラトケ囊胞に対する治療適応と手術手技の術後経過からの再検討

鳥取大学 脳神経外科 小棕 貴文

S15-2 下垂体茎の局在不明瞭なラトケ囊胞は術後下垂体機能低下の頻度が高い

福島県立医科大学 脳神経外科 神宮宇 伸哉

S15-3 経鼻的ラトケ囊胞開窓術における術後囊胞再発関連因子の検討

武田総合病院 脳神経外科 池田 直廉

S15-4 ラトケ囊胞に対する腹部脂肪充填術の治療成績

京都大学 医学部脳神経外科 池田 宏之

ランチョンセミナー6 脳腫瘍手術における止血の重要性/効果的な止血法

12:20~13:20

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長：川俣 貴一(東京女子医科大学 脳神経外科)

LS6-1 内視鏡下経鼻手術における止血材料とテクニックの使い分け

東京慈恵会医科大学 脳神経外科 石井 雄道

LS6-2 脳神経外科手術における止血とその必要性

森山記念病院 根本 晓央

シンポジウム16 合併症回避の工夫

13:50~15:00

座長：名取 良弘(飯塚病院 脳神経外科)
 井川 房夫(島根県立中央病院 脳神経外科)

S16-1 大型頭蓋底腫瘍におけるハイフローバイパスの役割

大阪公立大学 脳神経外科 一ノ瀬 努

S16-2 隹膜腫手術における止血と剥離：周術期出血性合併症回避の工夫

横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経外科 坂田 勝巳

S16-3 Anterior transpetrosal approachにおける
術後髄液漏の危険因子と再建法の工夫

慶應義塾大学 脳神経外科 唐津 皓介

S16-4 脳腫瘍外科手術合併症の経験共有の必要性
-術前シミュレーションとM&Mの重要性-

島根県立中央病院 脳神経外科 井川 房夫

S16-5 内視鏡下経鼻頭蓋底手術における術中髄液漏に応じた
硬膜縫合を伴う硬膜多層再建法は髄液漏の予防に有用である
-経鼻頭蓋底腫瘍摘出術を行った連続181症例から得た知見-

帝京大学 脳神経外科 後藤 芳明

S16-6 小脳橋角部腫瘍における合併症の回避
-モニタリングの可視化-

奈良県立医科大学 脳神経外科 森崎 雄大

S16-7 延髄背側血管芽腫に対する手術戦略と合併症回避の工夫

久留米大学 脳神経外科 音琴 哲也

シンポジウム17 High grade gliomaの手術適応・治療適応

15:00~16:20

座長：園田 順彦(山形大学 脳神経外科)
 中田 光俊(金沢大学 脳神経外科)
 木下 学(旭川医科大学 脳神経外科)

S17-1 膜芽腫の摘出率に関与する因子の検討

山形大学 脳神経外科 園田 順彦

S17-2 IDH野生型膜芽腫に対するGross Total Resectionの意義と課題

杏林大学 脳神経外科 齊藤 邦昭

S17-3 脳梁進展悪性神経膜芽腫摘出術の際のcallosal cistern剥離の有用性

北里大学 脳神経外科 柴原 一陽

S17-4 フルシクロビンPET/MRIを用いたグリオーマ手術戦略

神戸大学 脳神経外科 篠山 隆司

S17-5 初発膜芽腫の非造影病変をMRIから可視化する技術の開発

旭川医科大学 脳神経外科 木下 学

プログラム
第2日目

S17-6 膜芽腫患者におけるKarnofsky Performance Status $\geq 50\%$ 維持期間に関する要因

藤田医科大学 脳神経外科 大場 茂生

S17-7 当科における膜芽腫の初期治療後初回再発時における再摘出術の成績の後方視的検討

新潟大学 脳神経外科 塚本 佳広

S17-8 術前ベバシズマブ投与後における膜芽腫摘出術の効用と課題

東京慈恵会医科大学 脳神経外科 田中 俊英

一般演題13 髄膜腫2

16:20~17:20

座長：森岡 基浩(久留米大学 脳神経外科)
周郷 延雄(東邦大学 脳神経外科(大森))

O13-1 傍鞍部腫瘍性病変に対する手術戦略の要諦とpitfall

日本大学病院 脳神経外科 大谷 直樹

O13-2 鞍結節髄膜腫に対するbilateral subfrontal approachにおける

大脳半球間裂開放範囲の考察

-部分開放と全開放の比較-

高知大学 脳神経外科 福田 仁

O13-3 当院におけるBasal interhemispheric approachで治療した鞍結節部髄膜腫の治療成績

順天堂大学 脳神経外科 秋山 理

O13-4 鞍結節髄膜腫の摘出術 -アプローチの選択と視神経管開放の重要性について-

五日市記念病院 脳神経外科 坪井 俊之

O13-5 鞍結節部・蝶形骨平面髄膜腫に対する半球間裂アプローチの有用性と工夫

青森県立中央病院 脳神経外科 村上 謙介

O13-6 前頭部巨大髄膜腫に対する術前シミュレーションと手術戦略

東京警察病院 脳神経外科 吉野 正紀

O13-7 Trans frontal sinus approachの実際

大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科 矢木 亮吉

第2日目 9月13日(土) 第4会場 (京王プラザホテル新宿 本館4F 花A)

第2日目
プログラム

一般演題14 手術支援・画像診断

8:30~9:20

座長：大石 誠(新潟大学 脳神経外科)
坂田 清彦(久留米大学 脳神経外科)

O14-1 悪性神経膠腫に対するフルシクロビンPETの初期使用経験

岡山大学 脳神経外科 平野 秀一郎

O14-2 膜芽腫に対する初期治療終了時点でのMRI T2WI高信号域の残存パターンと
再発パターンの関係

東北大学 脳神経外科 山下 将太

O14-3 局所麻酔下ナビゲーションガイド定位的脳生検術
-分子診断時代における有用性と早期診断への貢献-

群馬大学 脳神経外科 大澤 祥

O14-4 デジタルエコーナビゲーションシステムを使用して摘出した小脳血管芽腫の一例

佐賀大学 脳神経外科 吉岡 史隆

O14-5 ハイブリッド手術室における術中CTの課題
—アーチファクトを最小化する新規ヘッドピンの開発—

東京慈恵会医科大学 脳神経外科 小関 宏和

O14-6 拡張現実支援下-外視鏡下開頭が一期的な腫瘍切除と頭蓋形成に有用であった1例

鹿児島大学 脳神経外科 米澤 大

一般演題15 手術手技・合併症

9:20~10:10

座長：大谷 直樹(日本大学病院 脳神経外科)
大森 一美(笹生病院 脳神経外科)

O15-1 脳幹部海綿状血管腫に対するtranspetrosal approachの有用性

笹生病院 脳神経外科 大森 一美

O15-2 中小脳脚に限局した腫瘍性病変に対する手術アプローチの検討

日本大学 脳神経外科 角 光一郎

O15-3 治療方針に苦慮した後期高齢者頭蓋底腫瘍症例

東海大学 脳神経外科 野中 洋一

O15-4 合併症回避と早期離床を目指した小児後頭蓋窩腫瘍に対する後頭正中下開頭の
工夫について

岡山大学 脳神経外科 石田 穩治

O15-5 眼窩上外側部腫瘍摘出における眉部外側小切開による外側到達法の有用性

国際医療福祉大学成田病院 脳神経外科 小野田 恵介

015-6 脳腫瘍摘出術における助手の役割と教育

東邦大学 脳神経外科(大森) 栄山 雄紀

一般演題16 症例報告 2

10:10~10:45

座長：鮫島 哲朗(東京通信病院 脳神経外科)

久須美 真理(北里大学メディカルセンター 脳神経外科)

016-1 Extradural Middle Fossa Rhomboid Approach後に
乳突蜂巣内液貯留および偽性髄液鼻漏を認めた1例

大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科 二村 元

016-2 術前画像で内側側頭葉神経膠腫を疑った
抗LGI1抗体関連脳炎の2例

北海道大学 脳神経外科 大木 聰悟

016-3 原発巣不明の頭蓋骨発生の横紋筋肉腫の一例

富永病院 脳神経外科 古部 昌明

016-4 前頭骨に発生したEndodermal cystの発生仮説

大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科 柏木 秀基

一般演題17 頭蓋底腫瘍

10:45~11:25

座長：坂田 勝巳(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

時村 洋(鹿児島市立病院 脳神経外科)

017-1 後頭蓋窩髄膜腫に対する治療戦略

兵庫医科大学 脳神経外科 阪本 大輔

017-2 優位側S状静脈洞閉塞に伴うmastoid emissary vein発達により
2期的摘出術を余儀なくされた小脳橋角部髄膜腫の1例

東京大学 脳神経外科 宮脇 哲

017-3 当センターの広範囲頭蓋底腫瘍切除術の治療成績

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 柳澤 俊介

017-4 顔面神経麻痺を呈した頭蓋底腫瘍に対する一期的腫瘍切除・顔面神経再建術を行った6例の治療成績

東海大学 脳神経外科 野中 洋一

017-5 当院におけるSolitary Fibrous Tumor の臨床病理学的検討

福岡大学 脳神経外科 榎本 年孝

一般演題18 病理診断・遺伝子診断の適応と治療成績

11:25~12:00

座長：廣瀬 雄一(藤田医科大学 脳神経外科)
武笠 晃丈(熊本大学 脳神経外科)

- 018-1 術中フローサイトメトリーを用いたAI診断とリアルタイムPCRによる神経膠腫の術中診断

TMGあさか医療センター 脳神経外科 鈴木 茉奈

- 018-2 術中迅速遺伝子解析を用いた遺伝学的な腫瘍境界の同定

名古屋大学 脳神経外科 出口 彰一

- 018-3 頭蓋外進展を伴う髄膜腫の臨床的および分子病理学的特徴

東京大学 脳神経外科 宮脇 哲

- 018-4 後頭蓋窩髄膜腫における遺伝子変異およびコピー数異常と解剖学的発生部位・再発予後との関連

東京大学 脳神経外科 平野 雄大

ランチョンセミナー8

12:20~13:20

共催：エーザイ株式会社

座長：加藤 庸子(藤田医科大学 ばんたね病院 脳神経外科)

- LS8 レケンビを想定した早期アルツハイマー病の臨床像と治療意義

東京医科大学 高齢総合医学分野 清水 聰一郎

一般演題19 グリオーマ2

14:00~15:05

座長：佐々木 光(東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科)
篠山 隆司(神戸大学 脳神経外科)

- 019-1 再発膠芽腫に対する治療選択肢の検討

東京女子医科大学 脳神経外科 岡 美栄子

- 019-2 高次脳機能を意識した覚醒下手術の術後社会復帰・復職に与える影響

東京医療センター 脳神経外科 山本 晃生

- 019-3 高齢のグリオーマ症例に対する覚醒下手術の適応基準

金沢大学 リハビリテーション科 中嶋 理帆

- 019-4 術中情報統合ミドルウェアを用いた覚醒下手術

信州大学 脳神経外科 藤井 雄

- 019-5 運動野近傍神経膠腫の覚醒下手術における刺入型電極ディープマッピング併用による合併症回避の工夫

東京女子医科大学 脳神経外科 小林 達弥

- 019-6 神経膠腫摘出における手術機器の使い分けと基本技術

東京女子医科大学 脳神経外科 郡山 峻一

第2日目

019-7 膠芽腫における初期治療後FLAIR Volumetryによる予後の検討

山形大学 脳神経外科 水戸部 祐太

019-8 神経膠腫患者における放射線壊死の治療上の留意点

武藏野赤十字病院 脳神経外科 玉置 正史

市民公開講座 頭痛と脳腫瘍

15:30~16:50

座長：神保 洋之(東京医科大学八王子医療センター 脳神経外科)

斎田 晃彦(東京医科大学茨城医療センター 脳神経外科)

● 頭痛外来へ行こう

頭とからだのクリニック かねなか脳神経外科 金中 直輔

● 危ない頭痛と脳腫瘍を疑う時

東京医科大学八王子医療センター 脳神経外科 一柳 倫生